

# 滋賀の森の現状と危機

## シカによる植生への影響および森林被害への防除の研究

～ 第一人者 高柳 敦 氏 をお迎えして ～



2018年

# 2月11日(日)

**時間** 午後2:00～**場所** 明日都浜大津ふれあいプラザ 5F 大会議室  
京阪京津線「浜大津駅」から徒歩約2分

どなたでも参加できます。日本の森に関心のある方ぜひお気軽にお越しください。

**高柳 敦 氏**京都大学 農学研究科  
森林科学専攻 講師

専門は野生動物保全学。大型野生動物による被害問題の解決のための研究を行っている。  
ニホンジカやニホンカモシカによる農林業被害、ニホンジカによる生態系被害、ツキノワグマによる皮剥ぎ被害(クマ剥ぎ)、ニホンザルによる被害対策、被害管理のあり方、野生動物被害問題の社会的側面、狩猟制度、野生動物利用の在り方など、幅広く取り組んでいる。  
人間と野生動物との共存のために、野生動物の存在が組み込まれた社会の実現と野生動物文化の形成を目指している。京都府ではシカ肉利用の推進事業にも関わった。  
食害防除ボランティア「かもしかの会関西」に1982年から参加し現在は代表を務める。

### プログラム

- 1:30 開場
- 2:00 高柳 敦 氏 講演
- 4:30 閉会予定

**入場  
無料**  
定員 75名

【主催・お申込・お問合せ】

**日本熊森協会 滋賀県支部**Email: kumamorishiga@yahoo.co.jp  
TEL. 090-2011-5530【後援】 滋賀県、巨木と水源の郷をまもる会  
琵琶湖源流の森林文化を守る会

## FAX 申込書

**FAX番号: 077-537-6875**

(電話番号またはEメールアドレス)

氏名

連絡先

参加人数

人

※定員75名・申込先着順です。 ※お申込時にお送りいただいた個人情報には今回の講演会以外には使用致しません。



このチラシは夏原グラント助成金を使って制作しました。



# あそりん 麻生林だより

滋賀県支部の活動レポート

高島市  
朽木麻生



## 伐るのか？ 伐らないのか？

高島市朽木にある211haのスギの人工林を私たち日本熊森協会が(株)麻生林業ごと買い取る形でトラストしたのは2015年末。当時、国\*と滋賀県と山主の55年間の分収造林契約が結ばれていました。分収造林契約とは、山主が山を提供し造林事業主体である国が国民の税金から造林費用を出し、造林業者に頼んでスギ・ヒノキの植林を行い50年後、伐採適齢期になったら皆伐して売却し、収益を山主4、国5、滋賀県1の比率で山分けしようというものです。

\* 森林開発公社 → 緑資源公社 → 独立行政法人緑資源機構 → 森林総合研究所森林整備センター → 現在は国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターに変更。既に国民一人あたり1,000円の徴収が決定している森林環境税はこんなところが使うのか？

拡大造林で植えられたスギ・ヒノキが伐採適齢期になっている現在、これらの造林木を伐るのか山をどうしていくのかビジョンが示せないまま30年の契約延長で問題の先送りをしている森林行政を批判するつもりはありませんが、私たち熊森は実践自然保護団体です。何よりも、麻生林が生命あふれる豊かな森になってほしい、人の営みと動植物の棲息地が棲み分けの形で共存できる山であってほしいと願っています。

麻生林は保安林指定をうけているため、山主(熊森)は、皆伐した後2年以内に植栽して水源涵養保安林としての機能を保持させなければなりません。豪雪地帯でしかも鹿が多くいくら苗木を植えても成林させるのは私たちには荷が重すぎます。何とか皆伐しないで契約終了にもっていかなければ…。熊森滋賀が麻生林にかかわりはじめ11年。困難は何度もありましたが粘りとチームワークでこまできたのですから知恵を絞り、道を探ります。



## どんな森を目指すのか？

麻生林の北側エリアはスギ植栽後に手入れがされないまま生育不良の木が多く、潜在植生の広葉樹がスギの間に生え、混交林になりはじめています。ここは手をつけなくて動物の棲みか。といっても沢の近くや棲みたい場所違う動物たちの特性も考えて、また育つ樹木の適地も学んで最小限の手を入れたいです。昨年このエリアで真新しい熊剥ぎを発見しました。ということは、まだ熊が棲んでいる、まだ自然の森復元が間に合う、とても嬉しかったです♪

一方、南側のエリア80haは、造林されたスギがある程度成長して収益が見込めます。が、搬出するには林道崩壊箇所を何か所も補修する必要があります。いったん林業を頭からはずし、ここは間伐をして超長伐期林(もっと巨木に育つのを待つ)に。防鹿柵で下層植生が戻りはじめたら環境学習の広場やフィールドアスレチックにも。ゆるやかで肥沃な土壌かつ林道に近い場所は苗木畑として利用。木地山峠から桜谷山の尾根筋は高島トレイルで登山者も多いです。百里の東尾根は2017年から登山道周辺の景観整備という名目で暗いスギ林を、私たち森林ボランティアが除伐しています。仲間と一緒に昼食もおしゃべりも和気あいあい♪山歩きや環境保護に興味のある方、ご連絡ください♪

地元の森林組合に仕事や林道補修工事をお願いしたり、苗木生産のやり方、防鹿柵のやり方などご指導いただかなければ前へ進めないことばかりです。また、地元集落の方々にもこの気候風土に合わせた林業がどんな具合に営まれていたのか昔の暮らしはどうであったかも伺いたい。防災の面からも最近の局所的大雨、大雪に備えた山づくりはどうすればいいのか、専門家の意見をもっと聞きたい。



## 会費・寄附のお振込み先

● 郵便振替 口座名/熊森基金 00970-8-137360

他金融機関からは 099店 当座0137360

● 銀行振込 三井住友銀行 西宮支店 普通8558663

口座名/一般財団法人 日本熊森協会

私たちの活動に共感し支えて下さっているすべての方々に感謝し、また新たな歩みを進めたいと思います。今後とも引き続きよろしくお願い致します。なお熊森活動資金の多くは会費で賄われています。ぜひご入会ください。またボランティア参加、ご寄付もお待ちしています。

日本熊森協会滋賀県支部 村上 美和子